



報道発表資料の配付日時 3月10日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	根室振興局管内で回収された死亡野鳥(ハシブトガラス)における高病原性鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査の結果について(陽性)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 3月1日に根室市内で回収し、簡易検査で陽性反応が確認されていた死亡野鳥(ハシブトガラス)1羽について、昨日(9日)、環境省が農業・食品産業技術総合研究機構(茨城県つくば市)に依頼した遺伝子検査で、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が確認された(陽性)のでお知らせします。本件は、同一地域での継続発生です。</p> <p>○ 家きんについては、野鳥の回収地点から半径3kmの区域内に農場はなく、また現時点で、道内の家きん飼養農場に異状を認める報告はありません。</p> <p>〈今後の対応〉</p> <p>(1) 今回の死亡野鳥は、根室市内で1月20日から2月18日にかけて回収され、高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されている死亡野鳥(ハシブトガラス)計13羽と同一地域で回収されたものです。根室振興局では、既に指定されている野鳥監視重点区域(回収地点から半径10kmの区域内)での監視強化を継続するとともに、他の振興局においても、引き続き野鳥の監視を強化します。</p> <p>(2) 同一地域における死亡野鳥(ハシブトガラス)は、環境省「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」が定める同一地域、同一種における継続発生に該当し、「さらに効率的な検査方法」として、回収累積10個体ごとに1個体を検査しています。</p> <p>(3) 全道すべての家きん飼養農場に対し、2月15日の家畜伝染病予防法第9条に基づく緊急消毒命令と併せ、異状が見られた場合の早期通報、防鳥ネットなど野鳥の侵入防止対策の徹底について引き続き指導し、発生予防対策の強化を図ります。</p> <p>(4) 今回の事例は根室振興局管内における12例目の発生であり、3月2日に開催した「北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会」において、根室振興局管内の高病原性確定時の対応については確認済みであることから、幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p style="text-align: center;">※別添参考 死亡野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査状況</p>		
参考	<p>・高病原性鳥インフルエンザウイルス ウイルスの血清亜型がH5又はH7で、ニワトリに対する病原性(致死率や伝播力など)が高いウイルス。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 今回の事例は、道内の環境中に本病ウイルスが存在していることから、高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農家における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。</p> <p>○ 現地での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	<p>【同時配付】 環境省、根室振興局 同時レク</p>		
担当(連絡先)	<p>・環境生活部環境局自然環境課野生鳥獣係(担当者:山中) TEL:011-231-4111(内線24-382)ダイヤルイン:011-204-5205</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:信本) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441</p>		

死亡野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査状況(令和3年10月～)

1 北海道が実施した簡易検査の結果

No.	回収日	振興局名	発見場所	鳥の種類	羽数	簡易検査	遺伝子検査	病原性
1	10月24日	上川	旭川市	ハシブトガラス	1	陰性	陰性	
2	10月26日	上川	旭川市	マガモ	1	陽性	陽性	低病原性
3	10月26日	オホーツク	小清水町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
4	10月26日	釧路	釧路市	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
5	11月8日	石狩	札幌市	ハシブトガラス	2	陰性	陰性	
6	11月16日	檜山	上ノ国町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
7	11月16日	根室	中標津町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
8	11月20日	日高	様似町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
9	12月4日	オホーツク	佐呂間町	フクロウ	1	陰性	陰性	
10	12月10日	後志	岩内町	マガモ	1	陰性	陰性	
11	12月20日	宗谷	稚内市	スズガモ	1	陰性	陰性	
12	12月23日	上川	旭川市	カワラバト	2	陰性	陰性	
13	1月8日	日高	新冠町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
14	1月13日	日高	様似町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	
15	1月20日	根室	根室市	ハシブトガラス	3	陽性	陽性	高病原性
16	1月23日	根室	根室市	ハシブトガラス	5	陽性	陽性	高病原性
17	1月28日	根室	根室市	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
18	2月1日	日高	新ひだか町	マガモ	1	陰性	陰性	
19	2月3日	根室	根室市	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
20	2月6日	根室	中標津町	フクロウ	1	陰性	陰性	
21	2月7日	上川	下川町	フクロウ	1	陰性	陰性	
22	2月7日	日高	えりも町	ハシブトガラス	5	陽性	陽性	高病原性
23	2月7日	十勝	池田町	マガモ	1	陰性	陰性	
24	2月8日	根室	標津町	ハシブトガラス	4	陽性	陽性	高病原性
25	2月8日	日高	えりも町	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
26	2月8日	胆振	室蘭市	ノスリ	1	陰性	陰性	
27	2月8日	オホーツク	斜里町	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
28	2月11日	日高	新ひだか町	マガモ	1	陰性	陰性	
29	2月11日	オホーツク	網走市	マガモ	1	陰性	陰性	
30	2月12日	根室	羅臼町	オオハクチョウ	1	陰性	陰性	

次頁に続く

1 北海道が実施した簡易検査の結果(続き)

No.	回収日	振興局名	発見場所	鳥の種類	羽数	簡易検査	遺伝子検査	病原性
31	2月14日	胆振	登別市	キンクロハジロ	1	陰性	陰性	
32	2月14日	根室	羅臼町	ハシブトガラス	3	陽性	陽性	高病原性
33	2月14日	根室	根室市	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
34	2月15日	宗谷	利尻富士町	ハシブトガラス	5	陽性	陽性	高病原性
35	2月18日	オホーツク	北見市	マガモ	1	陰性	陰性	
36	2月18日	根室	根室市	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
37	2月19日	根室	標津町	ハシブトガラス	4	陽性	陽性	高病原性
38	2月24日	根室	標津町	ハシブトガラス	4	陽性	陽性	高病原性
39	2月25日	オホーツク	斜里町	キンクロハジロ	1	陰性	陰性	
40	3月1日	根室	根室市	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
41	3月1日	宗谷	礼文町	ハシブトガラス	3	陽性	陽性	高病原性
42	3月4日	胆振	伊達市	オオハクチョウ	1	陰性	検査中	
43	3月9日	根室	羅臼町	ハシブトガラス	4	陽性	検査中	
計					76			

2 環境省所管種の検査結果(北海道関係分・遺伝子検査で陽性とされたもののみ)

No.	回収日	振興局名	発見場所	鳥の種類	羽数	簡易検査	遺伝子検査	病原性
1	1月2日	留萌	苫前町	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
2	1月23日	オホーツク	雄武町	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
3	1月22日	オホーツク	小清水町	オオワシ	1	陰性	陽性	高病原性
4	2月2日	日高	えりも町	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
5	2月10日	根室	羅臼町	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
6	3月3日	オホーツク	佐呂間町	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性

今回分